

介護職員チームリーダー養成研修

受講者の声

社会福祉法人よつば会 地域密着特別養護老人ホームやまでら
管理者 中野 滋久さんと 介護主任 瀬川 友彦さん
お二人ともチームリーダー養成研修を受講され、研修協力者になり、ファシリテーターとして活躍されています。

研修の感想や
ファシリテーター
をした感想などを
インタビュー



研修協力者 瀬川 友彦氏(左) 管理者兼研修協力者 中野 滋久氏(右)



社会福祉法人 よつば会
地域密着型特別養護老人ホームやまでら
草津市山寺町1118
<https://428kai.or.jp/facility/yamadera/>
★“腰痛での退職者ゼロ”を掲げる
「抱え上げない介護推進事業所」

【研修前・研修中】

受講の動機、良かったこと・苦労したこと など

中野さんは、ユニットリーダーから係長・主任とステップアップし、現場を20年経験ののち、施設長代理を経て施設長に着任されました。チームリーダー養成研修が始まった平成30年度に研修を修了し、研修協力者になった初代ファシリテーターです。

瀬川さんも、ユニットリーダーからステップアップし、現在、介護主任で、令和3年度に研修を受講し、研修協力者になった新米ファシリテーターです。

(注)以下、瀬)・・・瀬川さん、中)・・・中野さん

Q1.研修受講の動機は何ですか

瀬)次のリーダー候補として研修に参加することになりました。

中)しっかりとした指導者になれると見込んで、参加してもらいました。自分の場合は、現場主任時代にステップアップできる研修探していたところ、研修案内のファックスが届きました。研修内容もよくわからず、日数が多く躊躇しましたが、滋賀県主催というところにも注目し、施設長と相談し、行くことにしました。軽い気持ちで受講を決めました。

Q2. (中野さんへ)研修受講のためにどのような配慮をされましたか。

中)業務中に公務としていけるように、現場の残っている人数でお風呂とか回るように、一日の人数を手配しました。公休日を使ってもらうこともあるかもと話していましたが、公務で行くことができました。

Q3. 研修中の良かったこと・苦労したことは何ですか

瀬)良かったことは、PBL(問題解決学習方法)型の研修で、自分で調べることが多くて知識が増えました。知識を集めたり整理する思考力・それを伝えるための表現力が向上できました。

苦労したことは、業務がある中、多い量の宿題をこなすのが大変でした。

中)私の場合は、一緒に研修を受講した仲間の他に、ファシリテーターをすることでできた仲間もいます。今でも仕事の相談に乗ってもらったりしています。

瀬)グループワークは楽しかったです。ずっとグループワークでしたけど(笑)。人見知りなので、最初、中々話せなかったが、日数が多いので必然的に話して仲良くなりました。今でもグループラインでつながっていて、たまに、「飲みに行きませんか」とお誘いがあります。

【研修後】

研修協力者としてファシリテーターをした感想 など

Q4. 研修を仕事にどのように活用しましたか

瀬)なかなか実施できないですが、職員が持ってきた問題・課題にリーダーが答えを言うのではなく、職員に考えてもらって、みんなで解決していくようにしようと思っています。「こうなんですけど、どうしたらいいですか?」と聞かれ、リーダーが答えを言うのを、職員がどう思っているのか聞いて、考え方を向上させるようにヒントを示して助けるイメージです。指導するのは、気を遣い、上手く話せず、あまり得意ではありませんが、実践しています。

Q5. ファシリテーターを経験してどうでしたか

中)前にファシリテーターをした時の受講生が、研修協力者になると手を上げてくれました。ファシリテーターとして自分が言ったアドバイスに対して「中野さんに言ってもらえて、しっくり落ちた。」と言ってもらえました。そう言ってもらえると、「しっかり勉強しないと!」という気持ちになります。

瀬)私は、ファシリテーターを1回したことがあります。基本的な介助の方法の講義でしたが、改めて基本ができていないと思いました。受講生と一緒に勉強している感じでした。何年もしていると、基本を忘れがちになると改めて思いました。後で、「しっかり勉強して行かないと」とかなり思いました。

中)受講生に理解してもらえるように説明することを、他のファシリテーターや先生にも相談していました。「分かってもらえたか?」という不安はいつもあります。ファシリテーターが集まる会議の時に、「あの時教えてもらってよかったです。」と声を掛けていただけると、間違ってたのかなと思えます。

Q6. 研修を受講して、瀬川さんに変化はありましたか

中)人に伝える力が付いたと思います。ディスカッションするときには自分の意見ばかりを通せないで、自分の意見を言いつつ、相手の意見をどう組み込んでいくのかという力が付いたのではないかと思います。

瀬)私自身は、なるべくみんながわかるように説明するようになりました。他の施設の人が見てもわかるくらいのレベルで、事務連絡などでも伝わるように書こうとしています。少し回りくどくなることもありますが。

Q7. (中野さんへ)瀬川さんの研修受講が事業所へ影響を与えましたか。

中)宿題をしているのを周りが見ており、「この研修は宿題がいっぱいある!」ということがインプットされるようです(笑)。研修を受講すると、スキルが上がるし、考え方が変わります。この研修に関しては、受講しないとその価値は分からないと思います。

瀬川の部下のリーダー達も、瀬川のように、自分で考えもらって、その答えを持ってきて話をするように指導しており、瀬川の伝え方などが周りに伝わっているように思います。

研修から帰ってきてすぐに状況が変わるわけではないですが、徐々に種をまいて水をやってというところでしょうか。

Q8. 今後の抱負

瀬)この研修を多くの職員に受講してもらって、経験や感覚だけのケアでなく、根拠のあるケアができるようになってもらえたらと思います。また、他の施設の取組みを知ったり、交流を行うことで、研修で学んだことを自施設に還元しやすい環境を作れるように協力していきたいです。「研修受けただけ」が一番もったいないです!

中)研修の同期生、ファシリテーター仲間、ファシリテーターの時の受講生など沢山の人が出会えたが、研修に行かないとこのような縁はなかったと思います。介護人材が減ってくる中で、介護力を高めること必要で、できることをできる範囲でお手伝いさせていただき、それが滋賀県の介護のためになればいいかなと。